草薙餘風

835
7

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7

ガラス使用

草薙餘風

皆春樓藏

835
7

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7

ガラス使用

草薙餘風

大正
13.12.15
購求

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7

ガラス使用

隋書禮儀志左右宮伯金飾長刀左右侍從下銀飾刀翊衛二百四十人横刀

按唐六典武庫令刀之制有四一曰儀刀古班劒之類宋晉以來謂之御刀後魏曰長刀皆施龍鳳環隋謂之儀刀裝以金銀羽儀所執陳二曰障刀以障身三曰横刀佩刀也四曰陌刀長刀也蓋古斷馬劍魏武帝有露路陌刀銘

就下圖考之恐双龍環

前田家所藏

古劒首

忠斷截圖

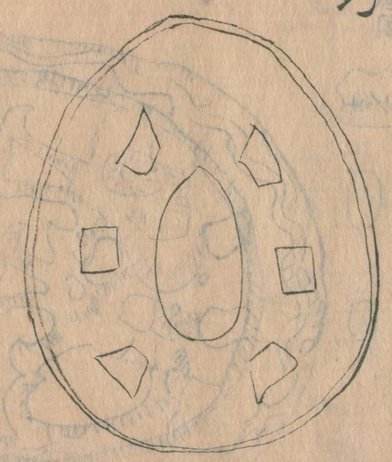
質銅鍍金青緑深密明治三年十月上野國群馬郡佐野村土中所得

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7

ガラス使用

一古書曰龍有九子一曰贔負形似龜能負重故以為碑趺一曰螭吻形似獸性好遠望故堂塔屋殿上置之一曰蒲牢形似龍而小性好吼為鐘上紐一曰睚眦形似虎性有威力故獄屋上置之一曰饕餮性好飲食為鼎蓋一曰虺蜴性好水造橋柱一曰睚眦性好殺刀環作之一曰金猊形似獅性好烟火香爐作之一曰椒圖形似螺蚌性好閉故門鋪首作之

古鍔　鍍金



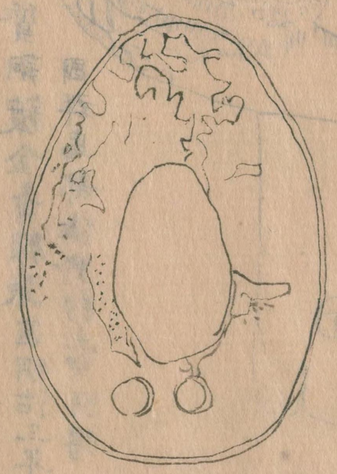
中心断截圖

所出同上

東京　横山由清藏

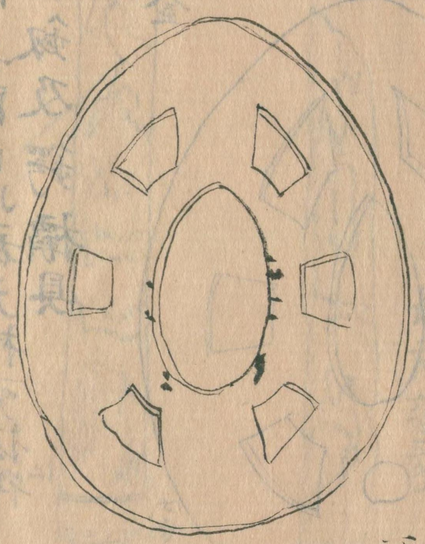
古鐔　鍍金

信州佐久郡土中所獲



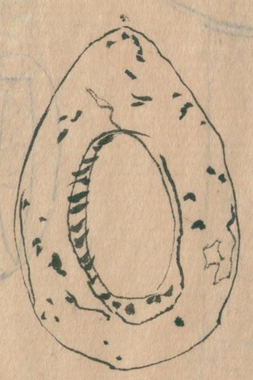
古鍔　鍍金

尾州海東郡所出



古鍬具　鍍金

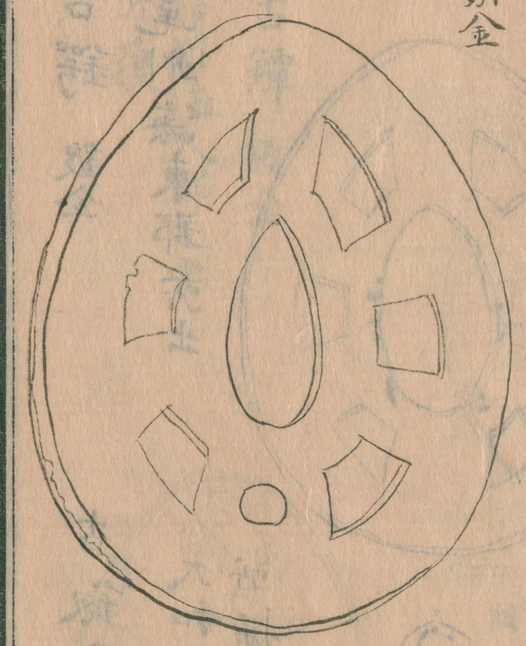
大和國櫻井驛南王冢所掘得

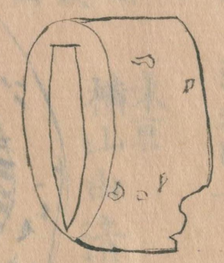


圖上三品共東京　松浦弘藏

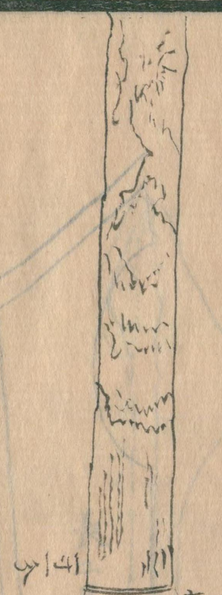
此所圖欄鎖余所藏較異
余物上四稜下少殺亦四稜
如龜甲背中底有洞劍莖
之口也是形式如印無稜
恐把欄少異乎式

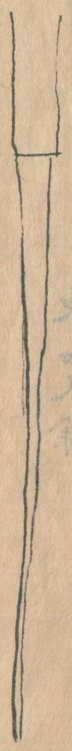
陸奥國白川郡大村所掘得
古劒及鍔欄具





同上



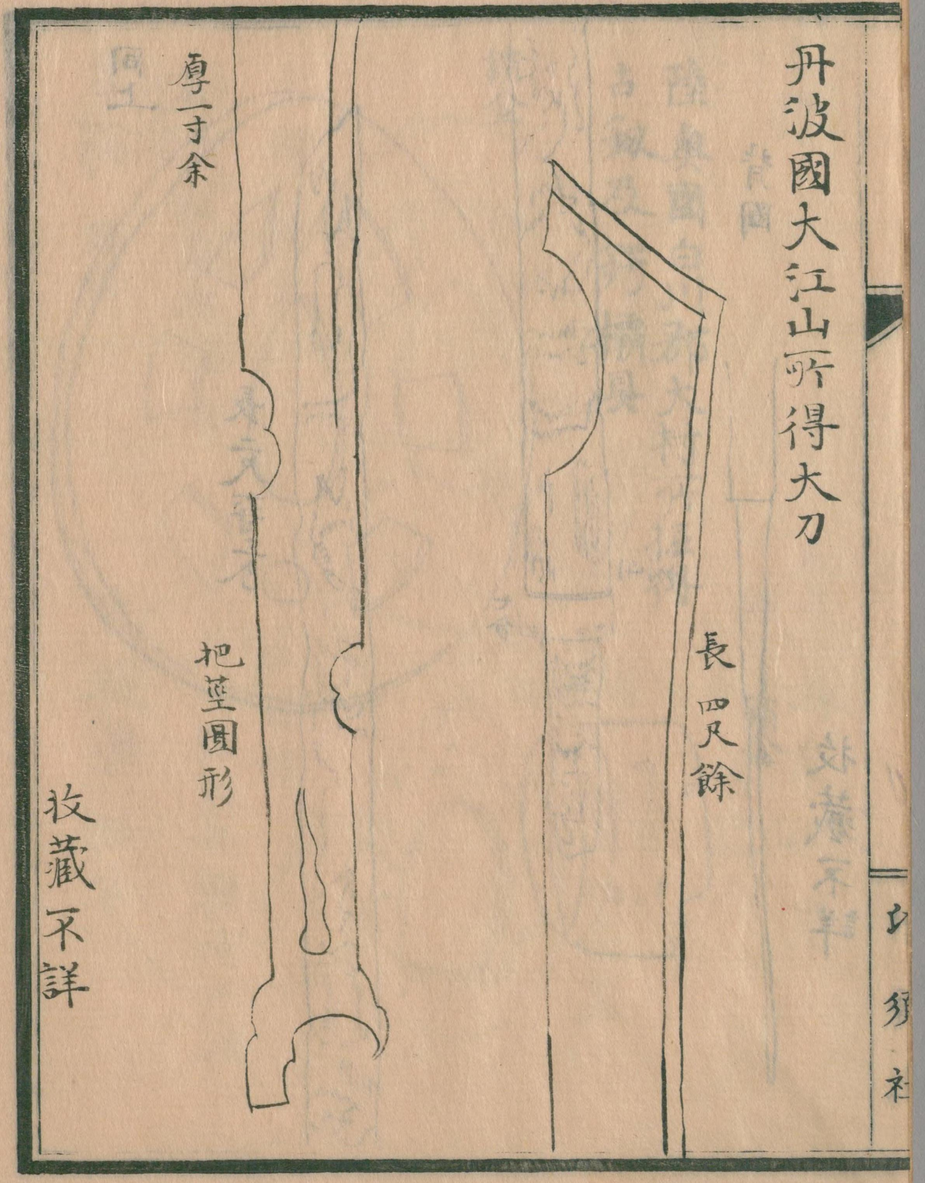


拔藏不詳

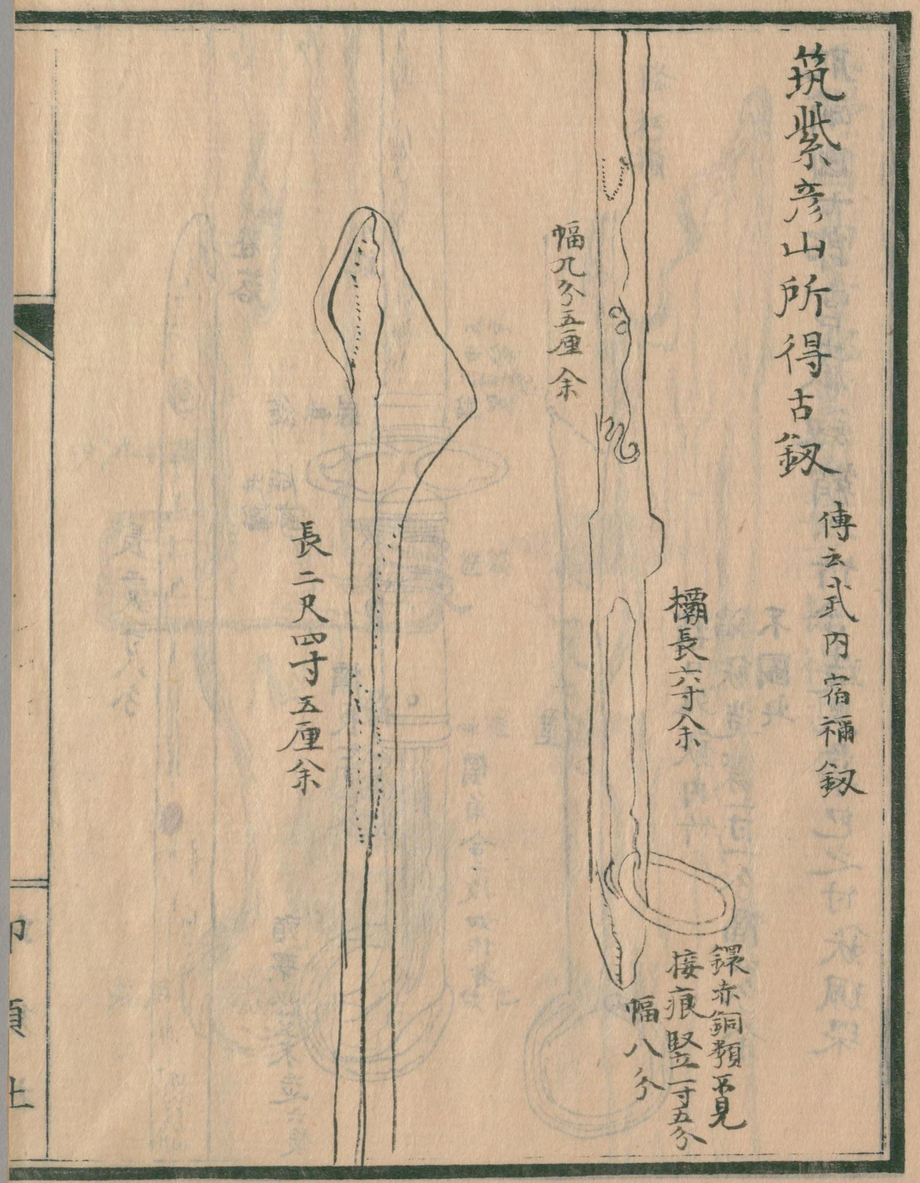
周礼考工記身長五其莖長者言上制上士服之軍九鈐○身長四其莖長謂中制中士服之○身長三倍其莖長謂下制

栗原信充曰我邦古劍之制表依周官所謂三制耶或古神聖明識暗合如此乎好古之士潛志考之耳伊勢太廟所藏玉纏横刀二身五倍其莖長須加流横刀亦同之

同藏雜劍中身四倍其莖者亦有

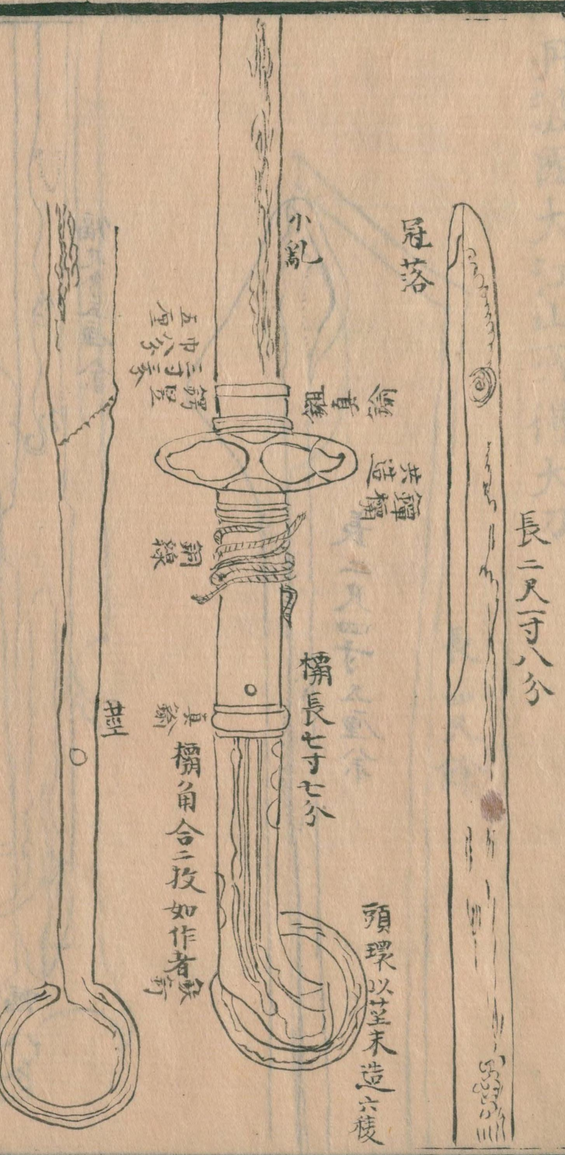


栗原信充曰此劍莖六寸余劍身二尺四寸余周官所謂中制劍恐傳自西土物耶



国立国会図書館　タイトル『草薙余風』 請求記号 835-7
ガラス使用

信克日此劍柄七寸七分身
二尺一寸六分身三倍其莖
者下制劍邪



肥前國七郎宮藏鞘以竹合造黑革包之付鉄珮環

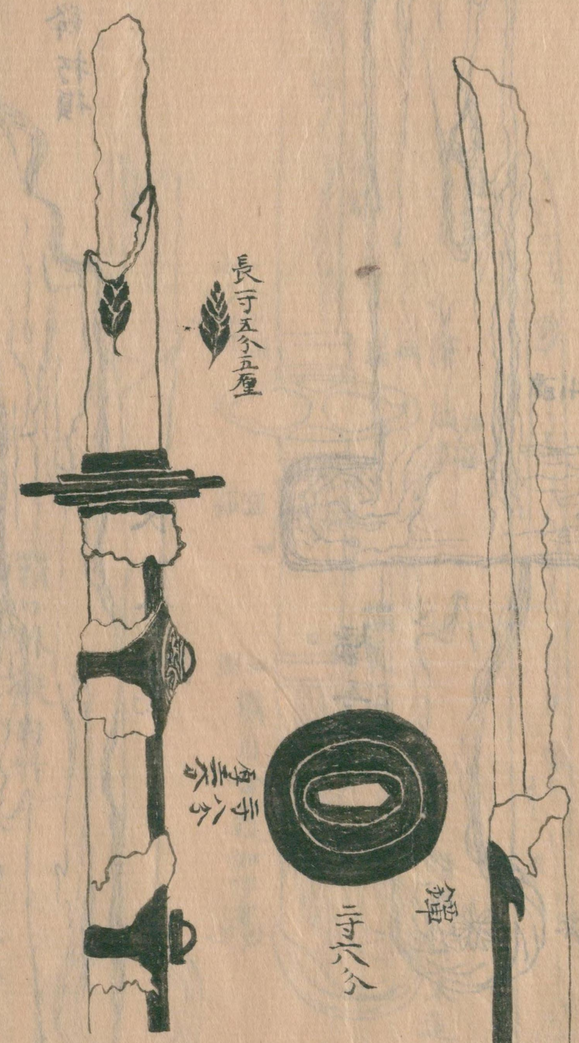
鞘口外鉄内竹
鎺鉄造深一寸一分幅四分余
不圖此

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7
ガラス使用

富氏所藏鳳環闕損之物爾遇古川氏之藏鳳環

陸奥國南部本誓寺藏刀

享保年間南部士人鉤廚川所獲



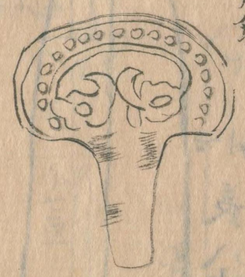
鍍金大刀頭

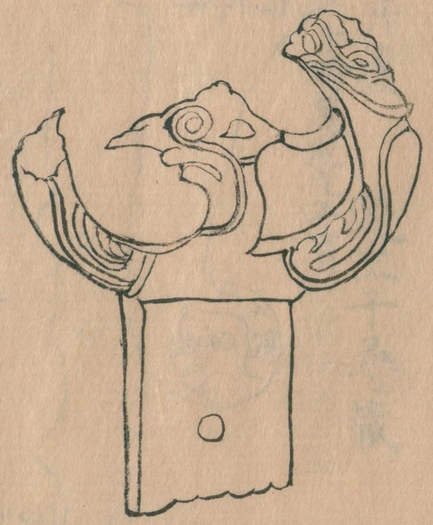
鍍金鈒頭縮圖 龍環

不詳出所

金色剥蝕

纔存



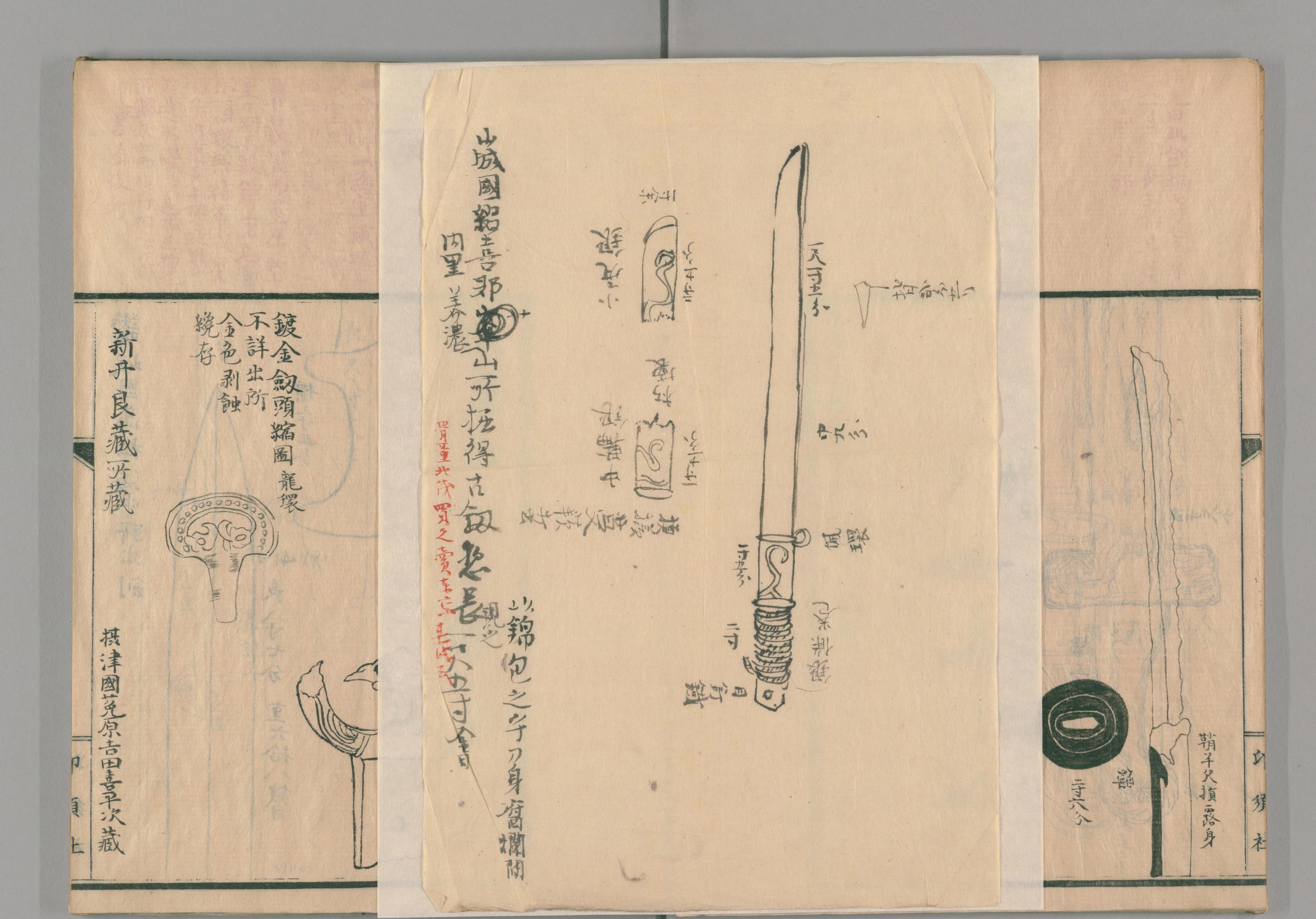


新井良藏所藏

摂津國菟原吉田喜平次藏

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7

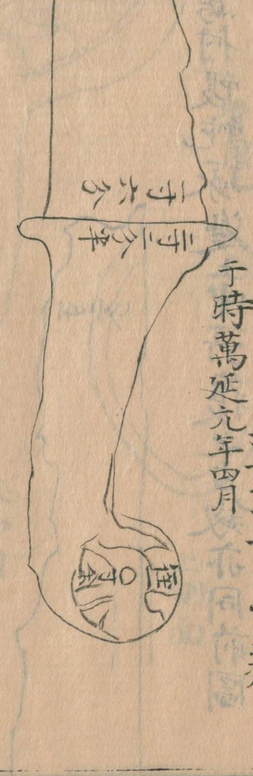
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7
ガラス使用　挟み込み物

讃岐國高松海中所出劍

陸中國和賀郡五丁目村掘地石棺中所獲



余嘗遊寧樂旧都拜觀正倉院御物中有此劍傳世之物其製[illegible]合竹片[illegible]爲室鐵環三架室黑革以包覆之欄柄無飾包直手握莖之[illegible]裝置而莖座壁室口別不設鐔室尾有鎺頭環無緒草戎腐爛乎[illegible]多年所鍛製於是水穉[illegible]是等之物恐所[illegible]兵士而非將相之所佩邪記書備後考

按集古十種所載野國高崎郡豊岡村市所獲又桂林漫録所載陸奥國和賀郡北鬼柳古墳中所出之物與此同種余所藏則陸奥岩手郡岩手山所産出正同與此釵陸奥國中横地現出同種之釵實奇哉

上野國碓氷郡豊岡八幡社頭古墳所出之時宝暦中

社司金丹某藏

長一尺六寸四分

柄長四寸

陸中國膳澤郡都鳥村蛇塚邊土中所獲之古鏃亦同前圖故畧

鳥首古鏃頭

鋼質鍍金

大如圖

質同上

鞘金具

古川汲古藏

原圖附鐔同松浦氏之藏鐔故省之

大如圖

上側面

長疑當鐺之欠損

側面

能登國鳳至郡内浦村採地所獲双龍首劍環 鍍金 金色燈耀

加州前田家藏

此環余於鳥居堂親覩之金色剥落現銅質黑色毛冠少欠茎亦半存蓋其製先所載同古川汲古藏物

鳳首劍頭環 質銅鍍金 所獲 武藏國各務郡蘇原村古墳

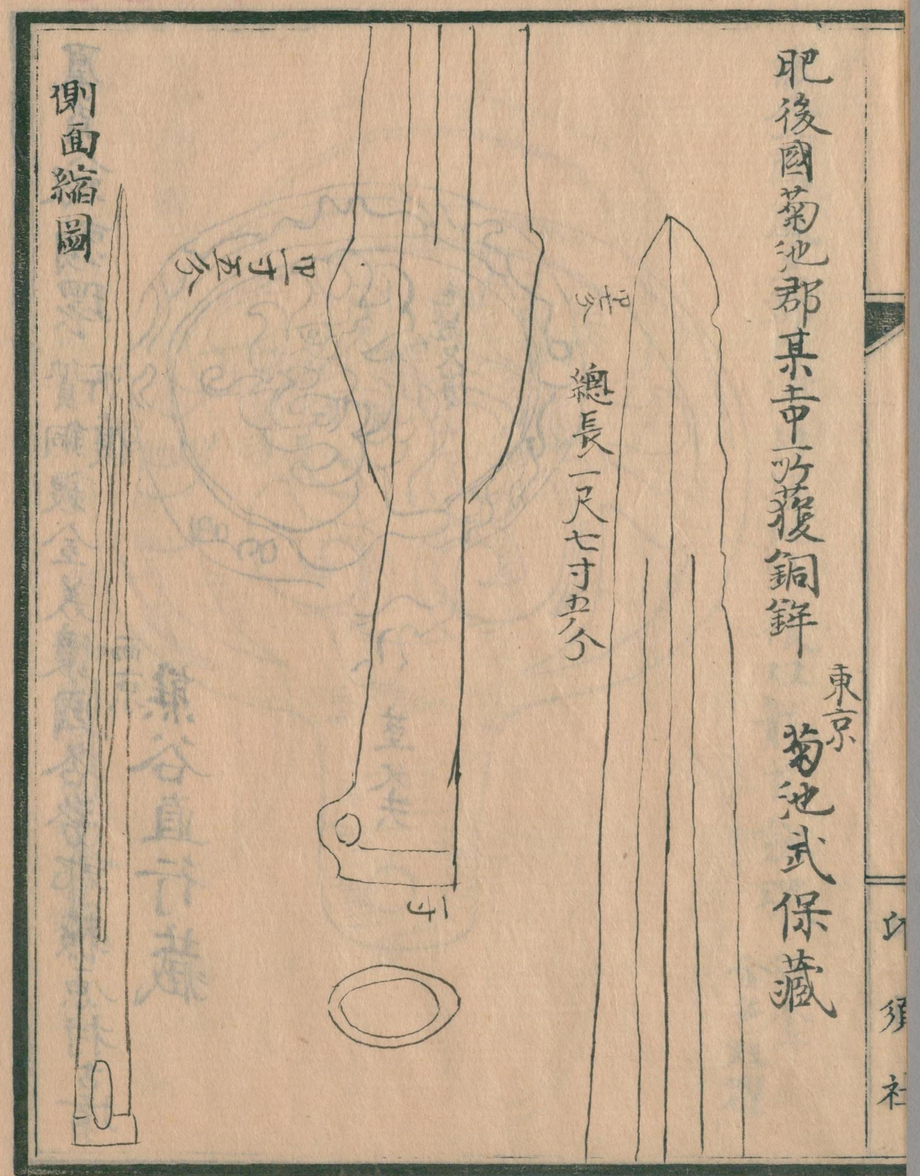
西京 熊谷直行藏

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』 請求記号 835-7
ガラス使用

鳴居堂所藏古銅鉾
似此圖稍長大 余戊寅
七月貌請堂熟覩總身青
緑古色蓋奇珍知為數
千年之物故雲華院所藏
恐亦所出于九州之地耶
前賢

肥後國菊池郡某市所獲銅鉾

東京 菊池武保藏

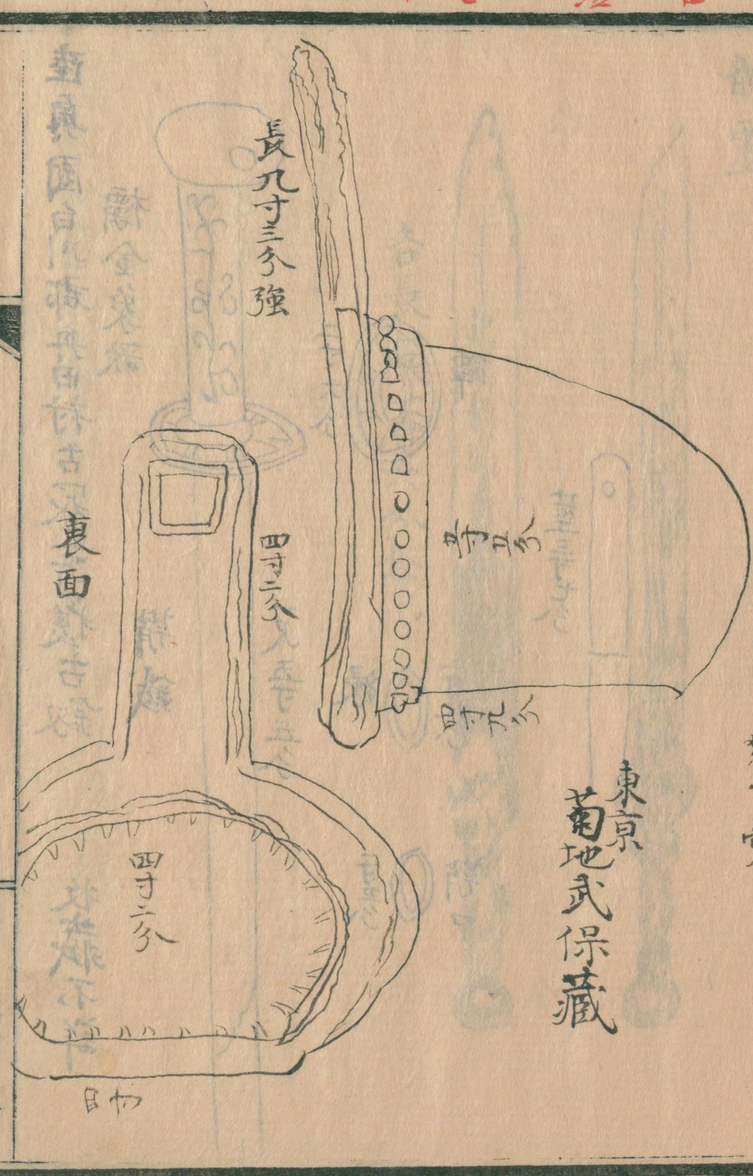


菊地氏所收古鐙大和法隆寺藏聖德太子之鐙而其製之精過之太子之鐙鐵製表無節此鐙鐵造銅包以金鍍之余觀鍍金古器幾數十未見金節鐙者不知何世何人之所用至然就其製考之不千年内物真希世之珍器而好古士不可不知之寶品不可不勘精造也書以俟後考

信濃國某市中所獲古鐙

質鐵以銅包之表面鍍金銅銹侵蝕青緑可愛

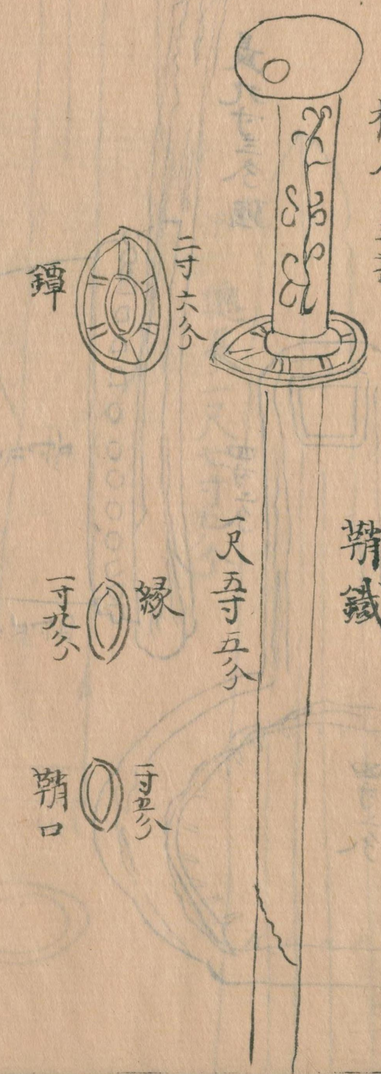
東京 菊地武保藏



国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7
ガラス使用

陸奥國白川郡舟田村古冢所獲古鈒

欄金象歌



鞘鐵

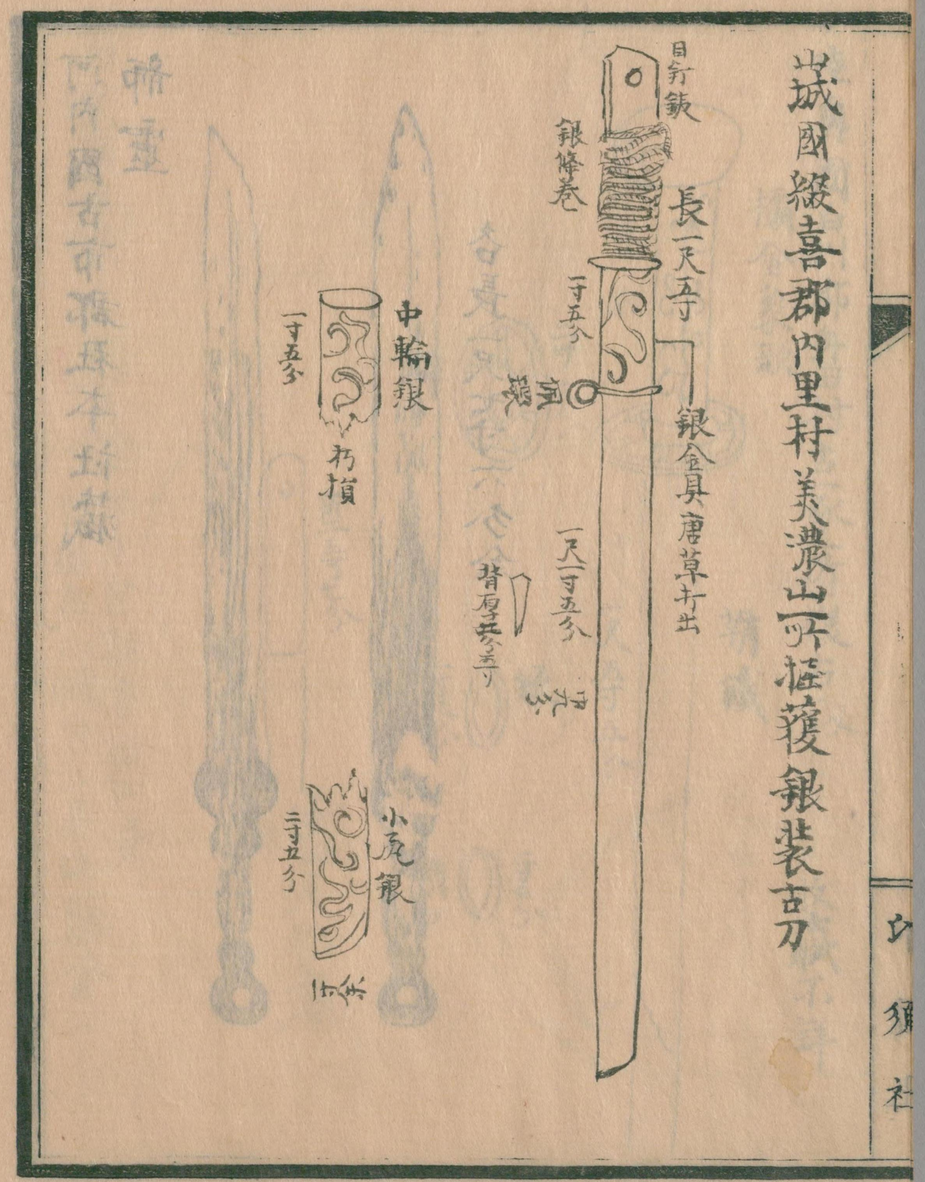
收藏不詳

河内國古市郡社本社藏

飾靈

各長一尺七寸六分余

陸奥國白川郡船田村掘地所獲太刀



城國綴喜郡内里村美濃山所掘獲銀裝古刀

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7
ガラス使用

同上金具
鍍金
大如圖
中空質至薄

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』 請求記号 835-7
ガラス使用

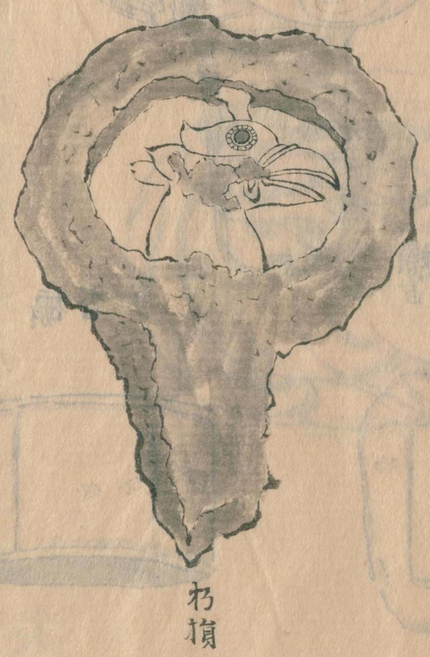
龍首釵頭環

質銅鍍金
出所不詳

西京
山田永年藏

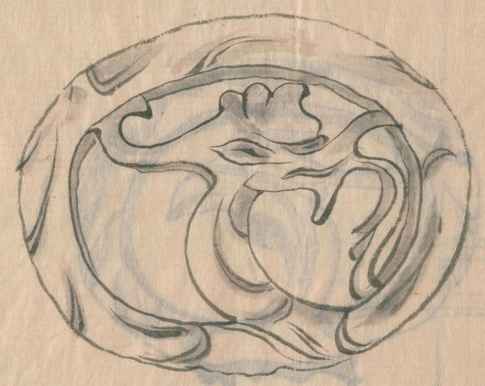
鳥首釵頭環

質鐵鍍金
所出不詳



同藏

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』 請求記号 835-7
ガラス使用



鳳首鈒頭環

質銅鎏金全剥落滿身緑青色

所獲不詳

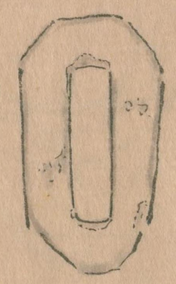
西京 飯室新菊藏

龍頭鈒首環

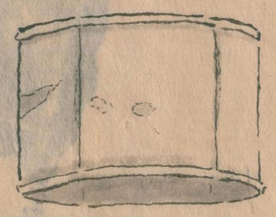
質銅鍍金

所獲不詳

大如圖

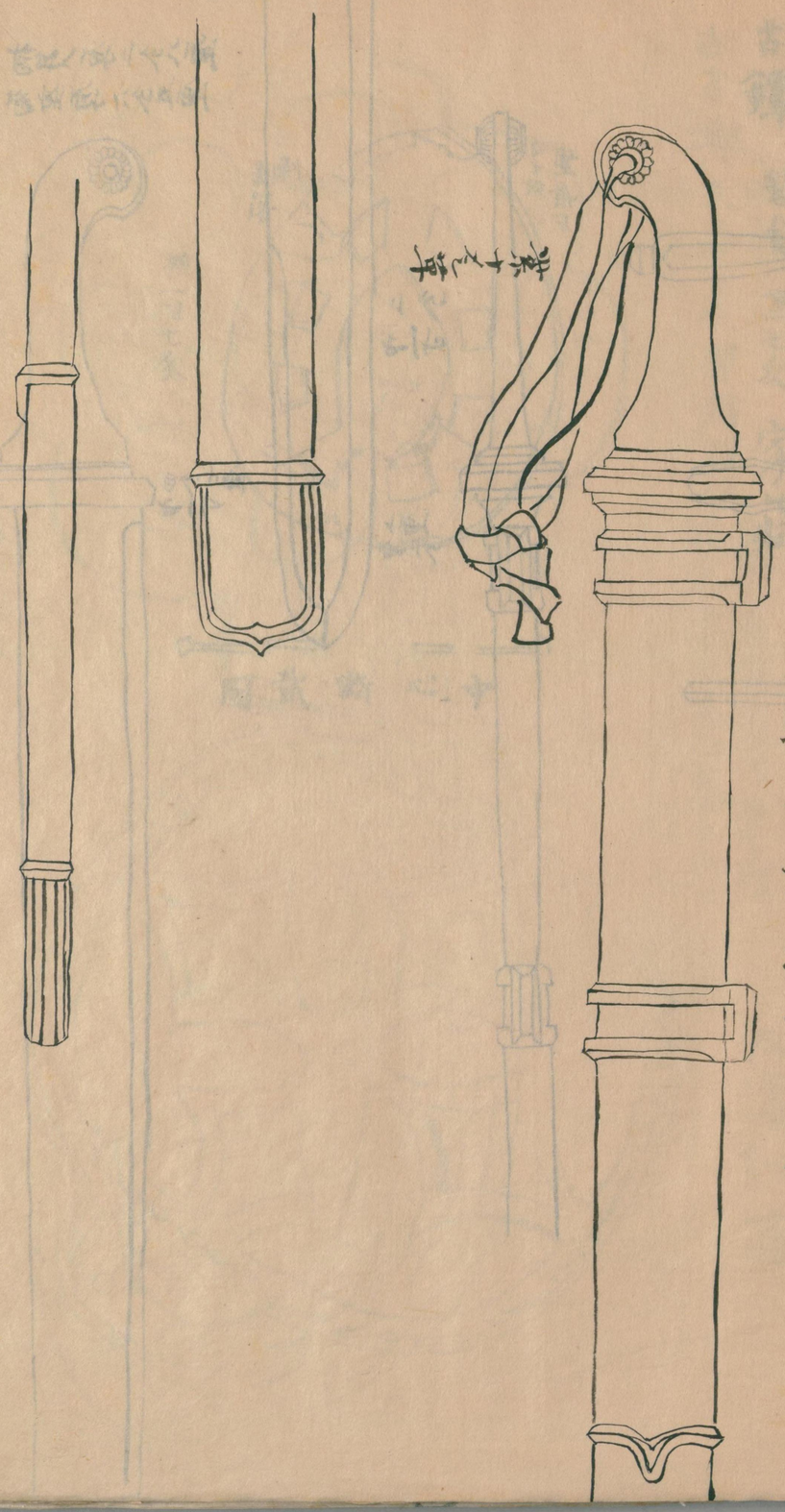


櫛背下底



櫛背

家藏



正倉院御物黒漆大刀四分一畧圖刀柄共長一尺九寸八分鞘長一尺六寸四分
鞘巾一寸六分鞘厚四分二厘

鳳首叙頭環

質銅鍍金剥蝕縁圓翼紋四〇皮之處重光燦然古色樹苔外全深青間現漆黒色

此叙頭鑄工秦瓦四藏轉傳子余

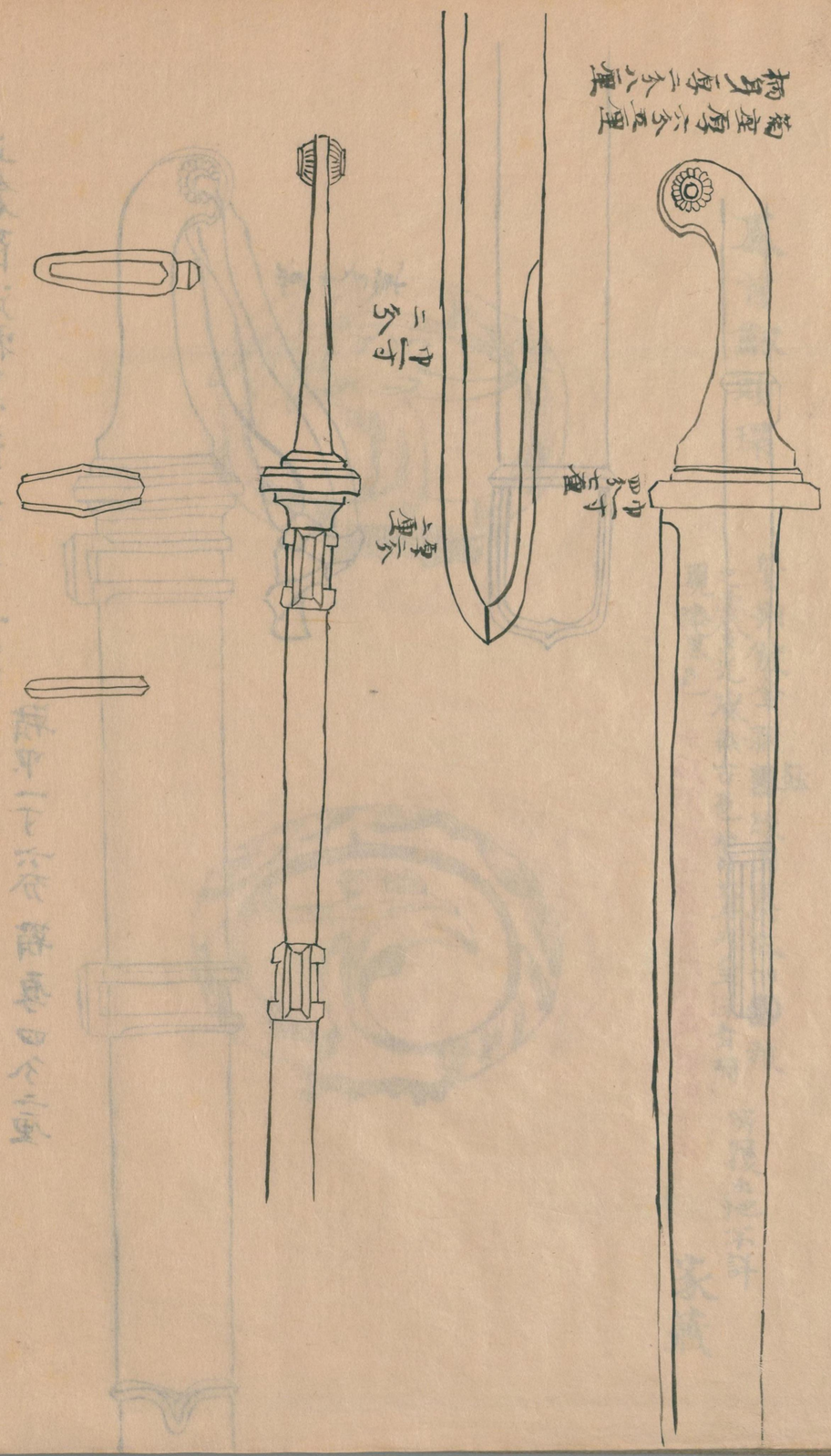
所獲土地不詳

家藏

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7

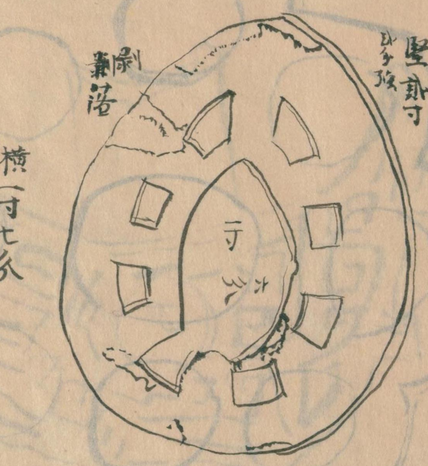
ガラス使用

同刀身



大和國某地所掘得

古鐔 鍍金 重七匁 家藏

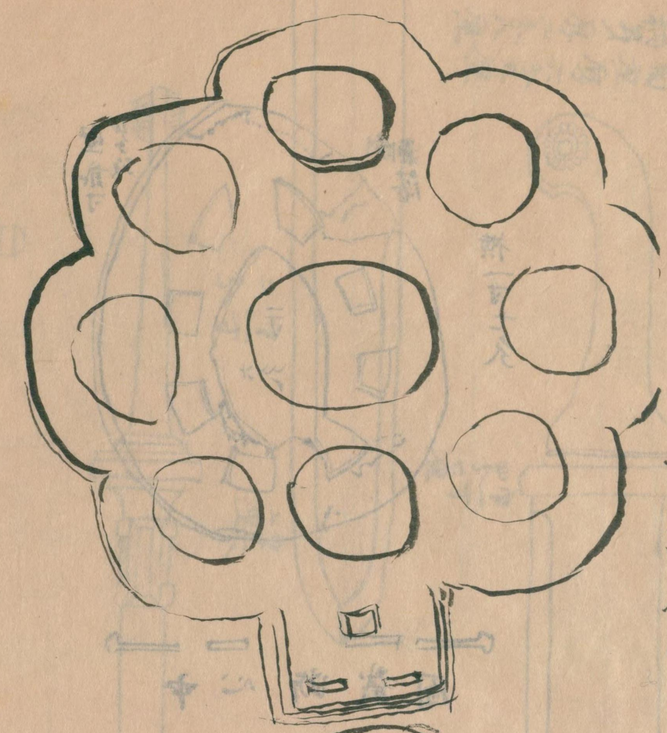


中心断截圖

古響鏡

長一寸九分
横一寸四分

駿河國有度郡
吉田村所掘出



東京
松浦弘藏

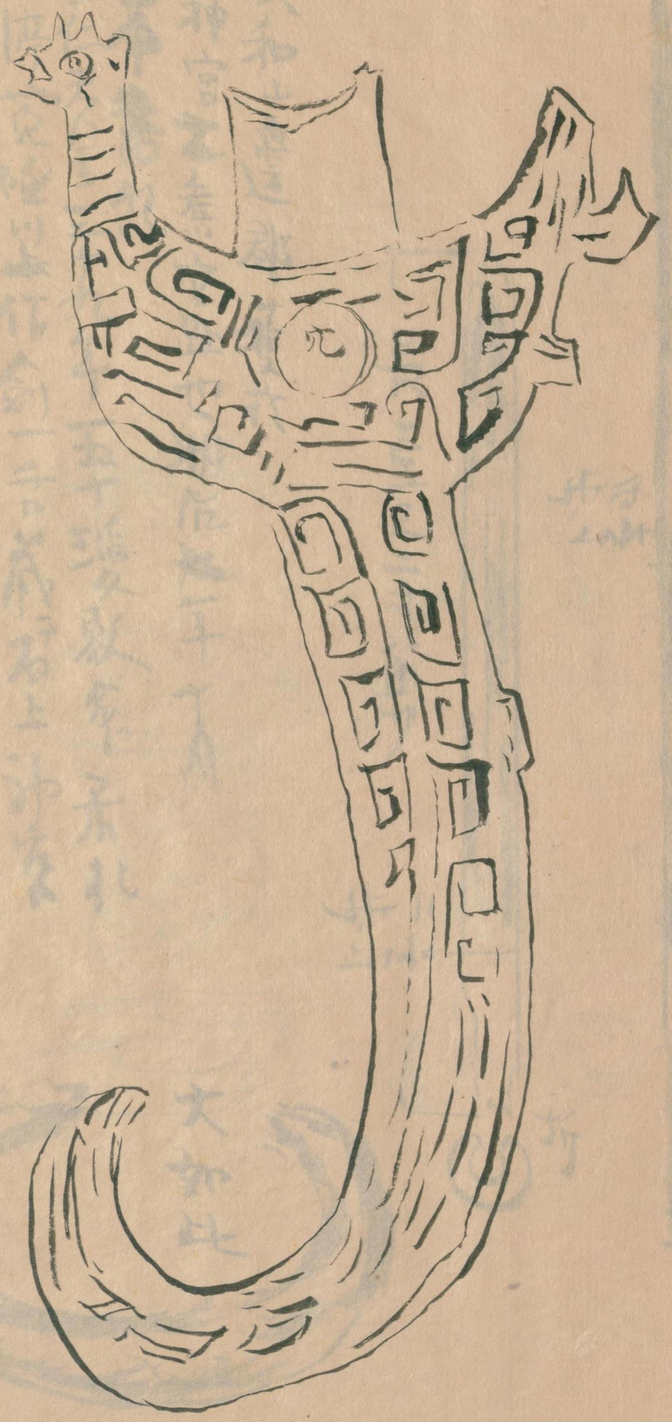
右古樂五寸三分 賀鐵銷金
横三寸六分
駿河國有度郡小荒村所掘得

東京
松浦弘藏

古銅劒頭

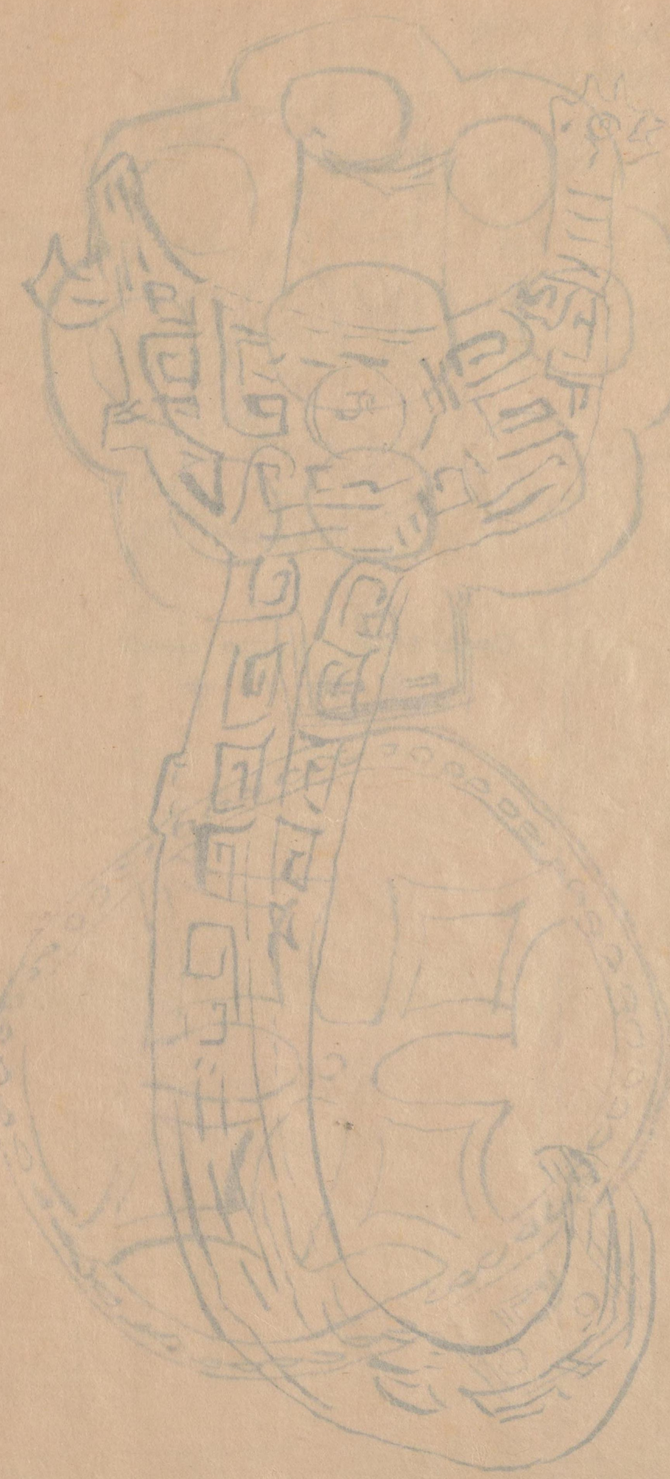
長七寸三分

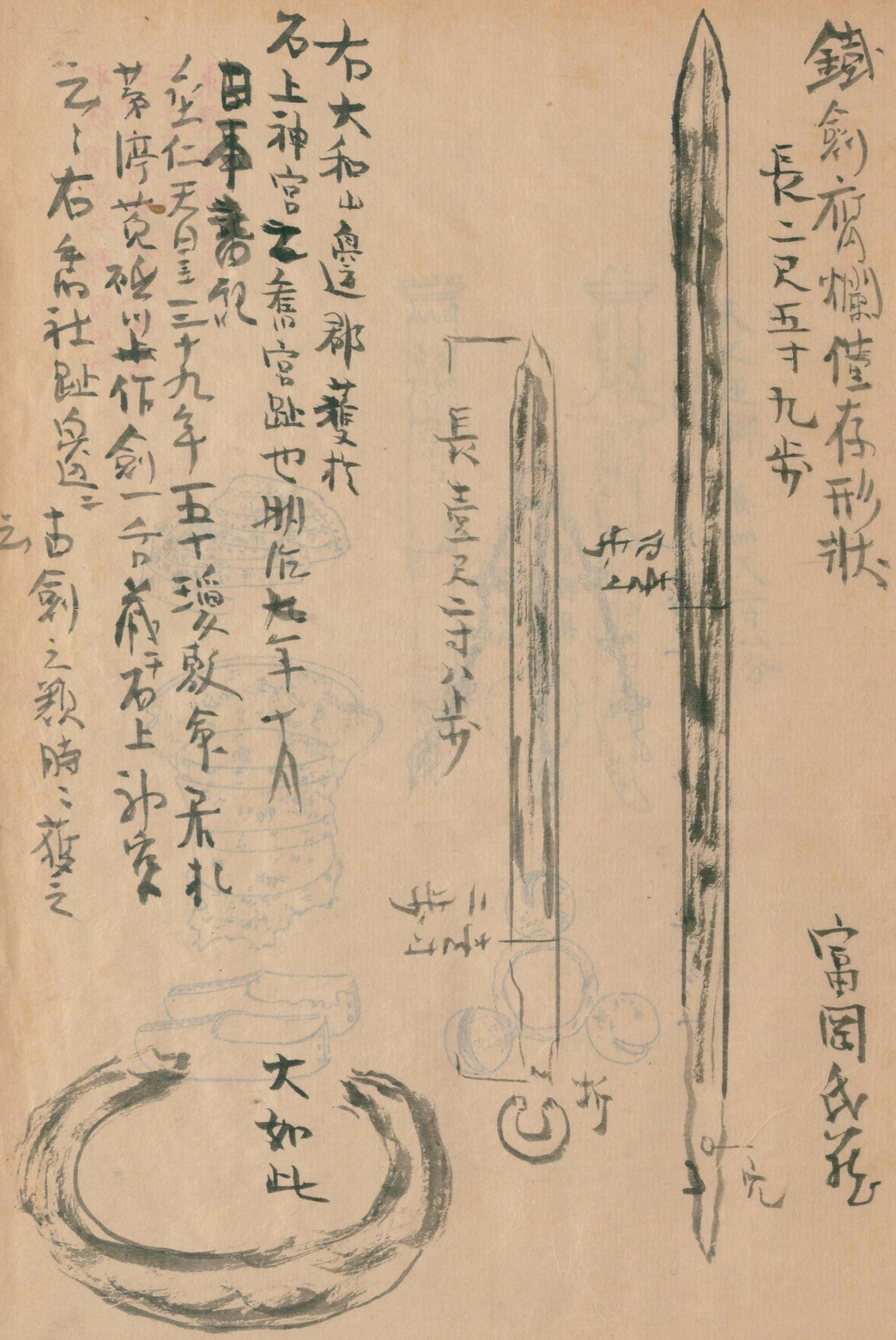
此器朱紫紵碧瑩潤而
銅質兼錬製作亦不精
清客鑒之為西蕃之物云



東京
松浦弘藏

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7
ガラス使用



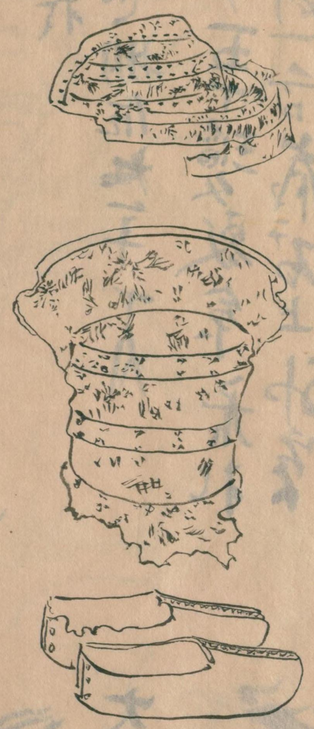


右大和山邊郡蔓荊
石上神宮之齋宮趾也
日本書紀
垂仁天皇三十九年五十瓊敷命
茅渟菟砥川上作劍一千振石上神宮
之〻右齋社趾邊ニ
古劍之類時〻獲之

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』 請求記号 835-7
ガラス使用

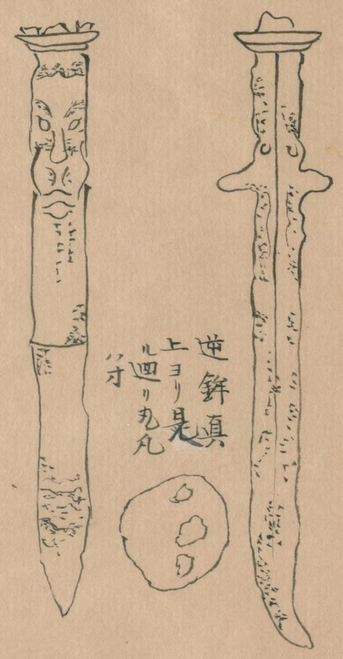
肥後國玉名郡内田郷
江田村内所掘獲古器
三十五之内
東京博物館藏

凡二分ノ一



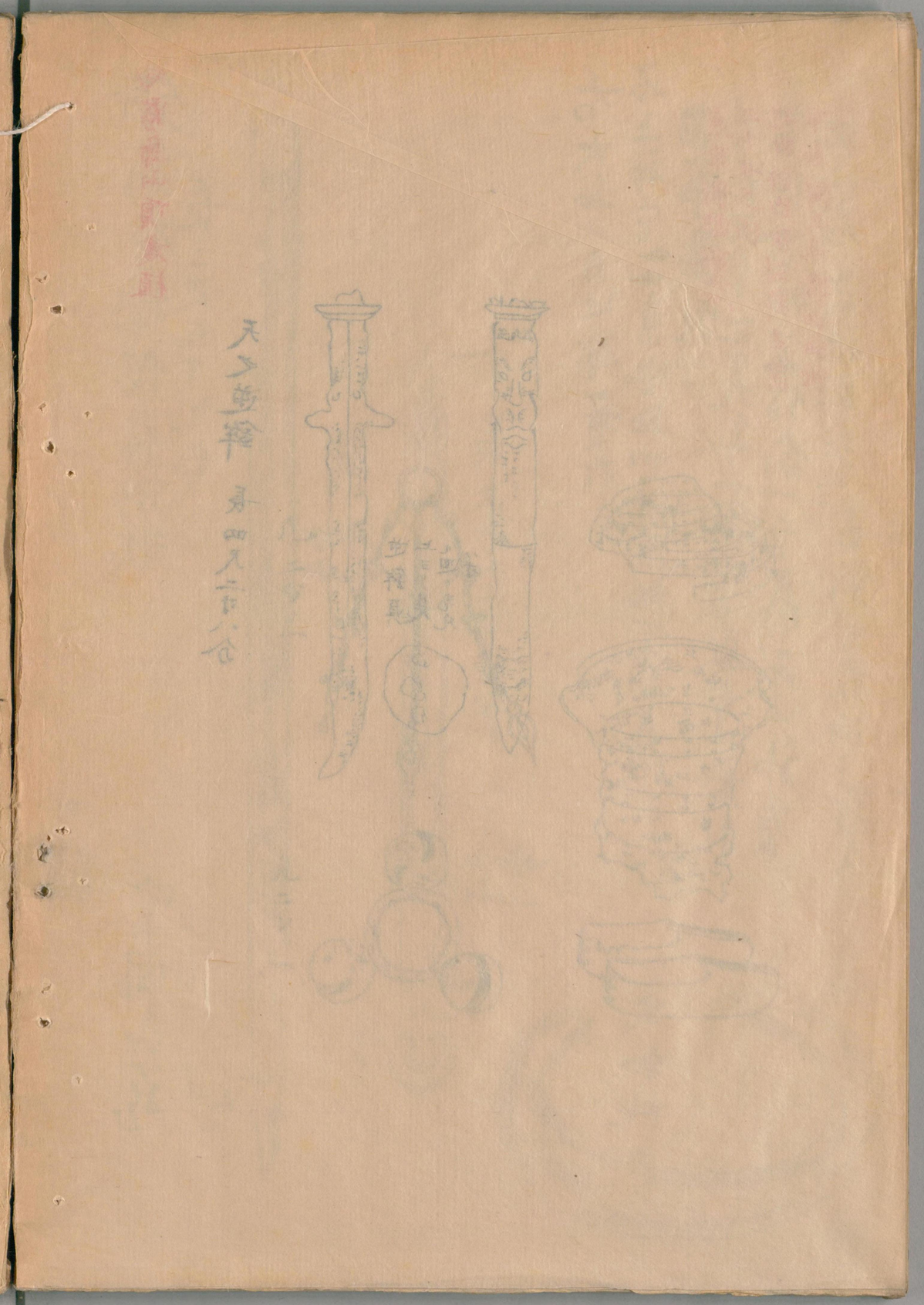
凡二分ノ一

日向霧島山頂建植



天之逆鉾　長四尺二寸八分

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7
ガラス使用

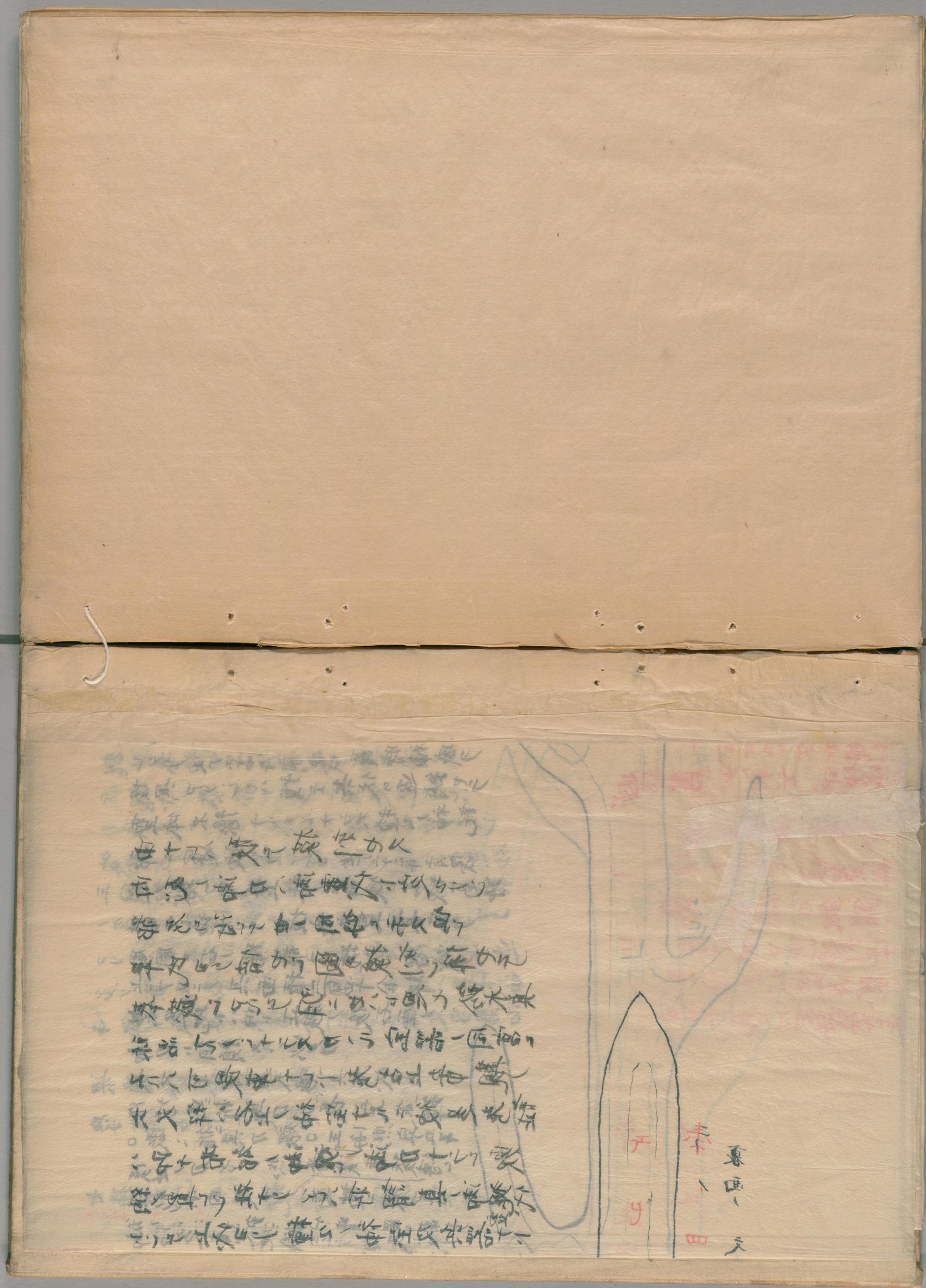


国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』 請求記号 835-7
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『草雑余風』　請求記号 835-7
ガラス使用

石上神社神寶圖

寸法如圖

古来六又ノ鉾ト称シ例年六月
神田祭渡御ノ節霊代ト称ス
傳来不詳
地鐵 筋并ニ文字朱書ノ所
金象眼アリ 文字不詳

日本書紀 神功紀 五十二年秋九月丁卯朔癸
久氏 百濟國使者 等従千熊長彦詣之則献
七枝刀一口 七子鏡一面及種々重寶

學齋佔畢 七枝橙
梁簡文帝詩 七子鏡

中鋒ノ表裏 隷書各一行アリ縣文字磨滅
多ノ裏面泰ノ字下左偏イヲ留ノ其下四
アリ二字磨滅其下口月十日丙午正造
ノ字アリ前漢武帝泰初泰初ノ二号アリ
三國魏文帝泰初晉武帝ノ代ニ又泰
始アリ イハ初ニ近リ始ニ遠シ数フクハ是初
ノ殘畫ナランコノ泰初ハ漢ノ泰初ヲスジ
テ魏代ノ泰初ナラン三國史記ニヨレハ
魏ノ泰初四年ハ肩成ニシテ百濟ノ
仇首王十七年ニ當リ即千我カ
神功皇后摂政三十年 ハ日本書紀ノ年紀ニヨル
今コノ鉾モ銘文緻理皆金ヲ
嵌スレハ其義嚴ニシテ儀仗品
タルヲ猶黄鐵如キカ重ノ短リ
シテ目行九ナキモ畢竟是等
ノ為ナラン

○ 石上神宝圖中ニ又内反ノ刀一口アリ
刀刃内反ニシテ莖端環状ヲナス
刃長二尺三分強廣サ一寸二分
莖長六寸四分 鎺ヲ形状奇古
ニシテ其上代ノ宝器タル因リ言ヲ待
タス或ハ蛇之兼正ノ御鈔ナランカ
附記云明治七年八月伺濟ノ上發掘
禁足地ヨリ發顯同八年御霊代ト
御指定有之地鐵ニシテ内反ト アリ
欽定西清古鑑ニ周代鸞ノ圖ヲ載セテ
其形亦内反ナリ莖端ニ環アルハ
渓北ノ刀多ク然リ前漢書陵傳ニ
○數ニ循其刀環ノ王海煎寧五年
作坊造新馬刀刀長三尺余鐔
長尺余首為大環其形状コノ
御刀ト相類スルニ似タリ
禁足地ハ旧ト正殿ノ後石庫ノ
上ニアリテ其面積二百四十余坪
周圍ニ石ノ瑞籬ヲ繞ラシ階段ヲ
[illegible]

○ 文字及筋ノ黑キモノハ
金象眼ノ剥落セシ痕ヤリト云

謹按ニ日本書紀 崇仁天皇三十九年
十月五十瓊敷命居於布留高
庭ノ川上宮作 鉾一千口因名其

原圖 石上神宮社務所ヨリ鈴木
真年氏ニ贈レル同宮神寶ノ模
圖中ノ一ニシテ 明治廿五年十二月
十五日發兌史學雜誌第四十七
号掲ル文學博士星野恒氏
七枝刀考ノ附圖 横列

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7
ガラス使用

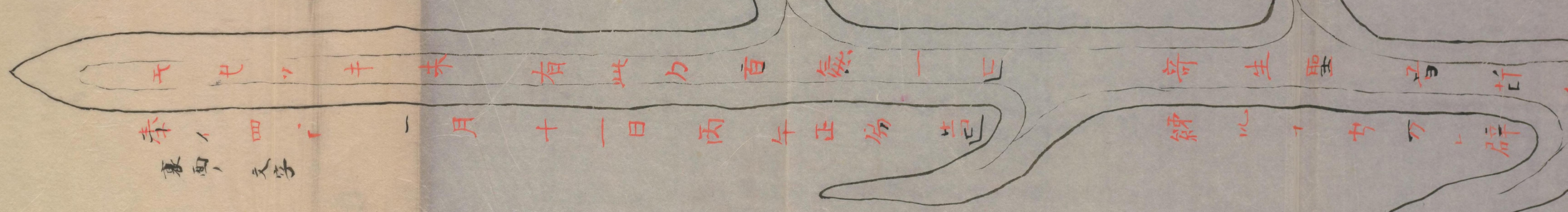
○石上神宝図中ニ又内反ノ刀一口アリ刀又内反ニシテ茎端環状ヲナス又長二尺三寸三分強廣サ一寸二分重長六寸四分程環ノ形状奇古ニシテ其上代ノ宝器タル因リ言ヲ待タス或ハ蛇之蔘正ノ御剱ナラン乎

附記云明治七年八月伺濟ノ上奏採禁足地ヨリ發顯同八年御霊代ト御指定有之地鎮ニシテ内反ト了リ

欽定西清古鑑ニ周代饕餮ノ圖ヲ載セ其形亦内反ナリ茎端ニ環アルハ渓北ノ刀多ク然リ前漢事略傳ニ○數ニ循其刀環口王御賜寛五年作坊造斬馬刀長三尺余鐔長尺余首為大環其形状ヨリ御刀ハ相類スルニ似タリ

禁足地ハ旧ト正殿ノ後石庫ノ上ニアリテ其面積二百四十余坪周圍ニ石ノ瑞籬ヲ繞ラシ階段ヲ禁セシ地ナリ　桓武天皇平安京ヲ定ノ給フヤ石上社ノ器仗ヲ山城葛野郡ニ運收セラレシニ此ノ八十二年二月度聖体不豫ナルノミナラス種々ノ神託怪異アリシカハ預テ兵仗ヲ返納セラレタリ天ノ二百年二月度爾時神威ヲ畏レ之ヲ埋メ奉リシ歟託宣神詔ニ歴代ノ天皇殷懃ノ志ヲ以テ送納ル所ノ神宝ナリ今吾庭ヲ踐ミ穢シテ運收スルハ不當ナリトアリ禁足地ノ名称ハ是ヨリ興ルナラン或ハ之ヲ社人ニ聞クニ禁足地ハ中世神庫ノ焚ケタリシニ寶器モ灰燼モ取收メス其侭土ヲ盛リテ掩蔵シ人ノ踏跡ヲ禁セリト但附記ニ内反刀ハ御霊代ト定メタル由記スルモ中四年ノ書状ニ拠レハ同宮ノ真ノ御霊代ハ古来御船代ニ納レテ宝庫ニ納メタリシヲ社殿改造ノ時取出シテ地中奥顕ノ命ト其ニ本社ニ納メラレト古事記傳ニ石上神宮ハ布都御魂御刀之神トシテ上代ヨリ種々ノ神宝及兵器ナト納メ置シ社ナリアレハ所謂真ノ御魂代ハ即チ布都ノ御魂ノ御刀ナラン歟

六又鉾ハ石上ノ神宝ナルニ役足考証スルハ可畏事ナレト考古上希覯ノ珍品ナルノミナラスカル宝器ノ同宮ニ奉蔵シアルヲ明ニセハト思ヒ鈴木真年氏ヨリ借セシ圖ノ模刻シ併セテ鄙考ノ附ニテ世ノ同好ニ示ス但シ内反ノ御刀ハ御霊代ト定アリシ由ナレハ敢テ模刻セス



謹按ニ日本書紀垂仁天皇三九年冬十月五十瓊敷命居於茅渟菟砥川上宮作劔一千口因名其劔謂川上部亦曰禊伴部藏石上神宮是後命五十瓊敷命俾主石上神寶

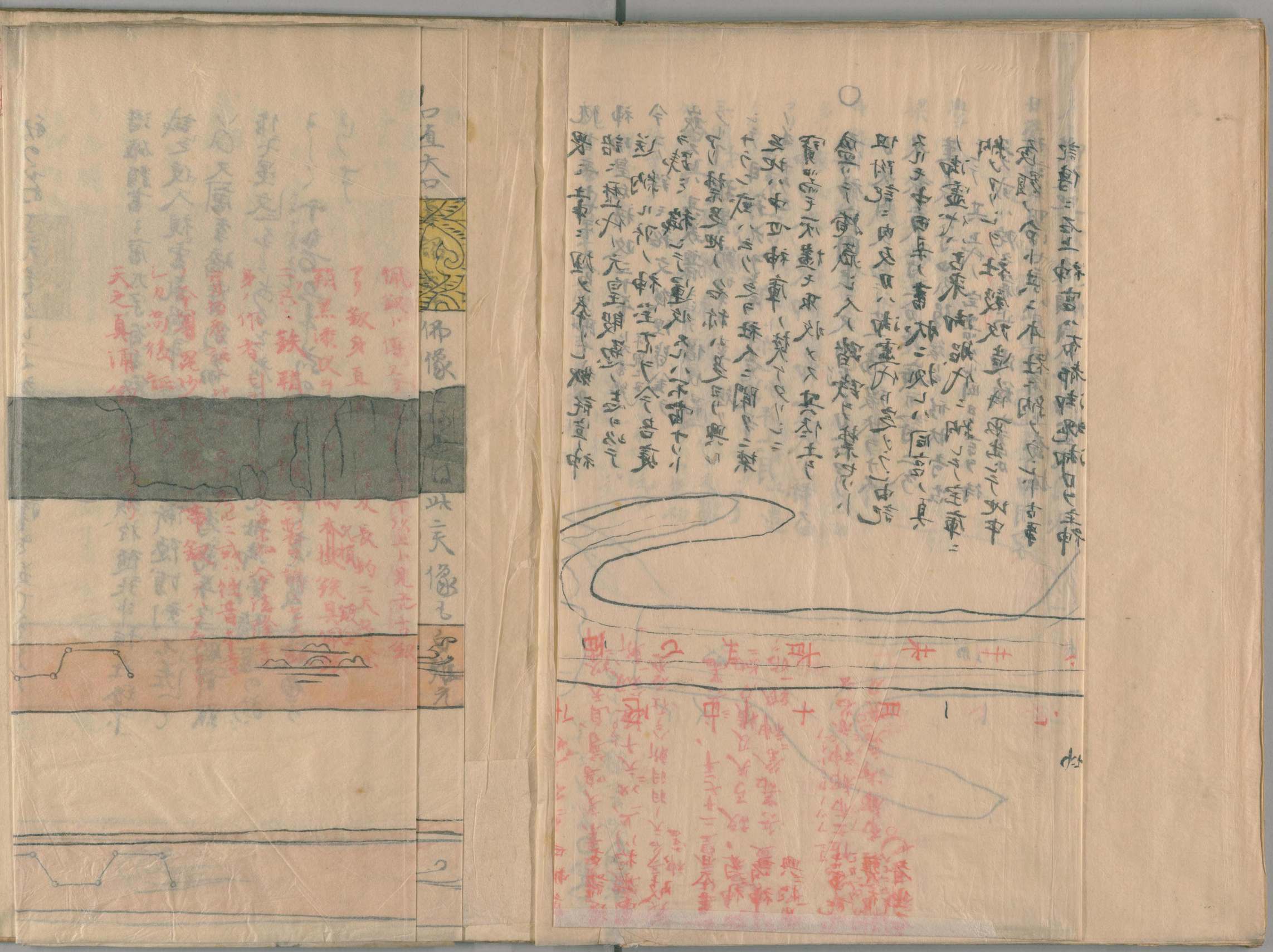
同神代巻一書曰其斬蛇劔號曰蛇韓鋤此今在石上也

古語拾遺曰素戔嗚尊自天降到於出雲国簸之川上以天十握劔斬八岐大蛇其名天羽羽斬今在石上神宮

日本書紀垂仁天皇二十七年十月兵器為神宝是時以吉之故弓矢及横刀納諸神社中者蓋兵器為神祇所以興於是焉

古事記註此刀名佐士布都神亦名甕布都神亦名甕布都御魂此刀者今坐石上神宮也

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』 請求記号 835-7
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『草薙余風』 請求記号 835-7
ガラス使用

法隆寺宝物目録云持国天御太刀者太子七歳以前之御守也
為未来衆生濟度令持此天或為国家安隠令持此天

法隆寺宝物考証云東京信元編　七曜御剱銅剱長一尺六寸廣九分厚一分五釐法隆寺金堂に安置す新持国天王の剱とて鞘黒漆皮にて鞘む欄金銅絲にて巻長一尺五寸五分製作全く同し増長天王の剱とて此剱相傳之上宮法王御物と云此二天長四尺四寸木像也光背の銘に山口鬱上而沢に木閑二人作也云行薬師徳保上而鐵師用古二人作也とあり先輩審定して山口の大口は日本書紀白雉元年の條に是歳山口直大口奉詔刻千佛像とあるは此二天像も白雉元年の作なるへし と云是上宮法王薨御後三十年に当る

埜抄に太刀契匡房記顕實云鈴剱三天或二天独て地十其中の剱背有銘北斗五青龍右白虎其外不見とあるときは此剱一尺六寸強なる北斗雲形以下の錆紋龍虎なる也鮮明なるこれとも若くは守屋征伐の時上宮法王に授らるゝ歟なるべし

う生る特に国家典型の一品章に今なを現存するを見る左曜仰尊重之 弘安元年閏十月 園城寺の宝物法印此御剱を拝見して

秋の月あさ元きるるにより夜の星七の曜を五てそとりて寶

潛確類書に唐太宗有古剱七星隠鞘於砥北斗恒在掌下誠之役人視雲氣過斗剱上逐星漸隠須臾不見と

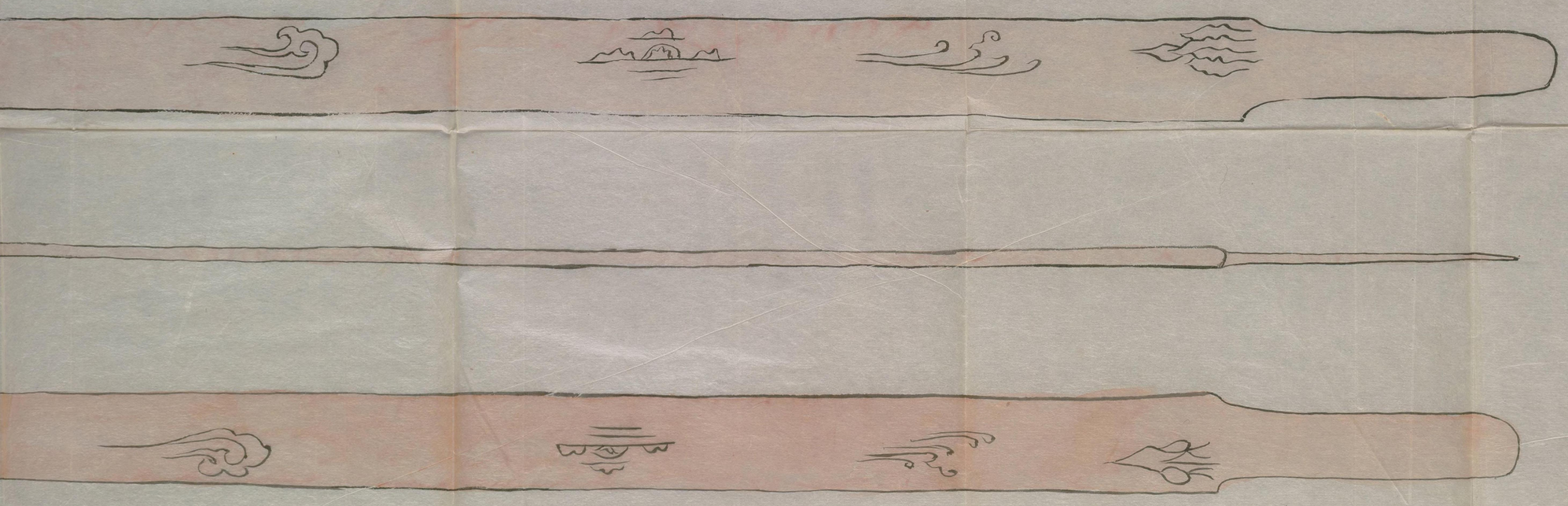
又唐李嶠寶劍篇に皆上銘為萬年字駢羅縱作七星文とあるを考合されも此御剱隋唐の物すしく千百年の年前の物なるを亮賢と敬仰つ

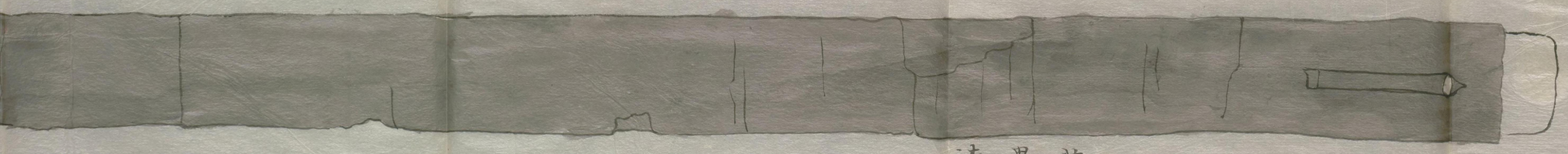
ちす

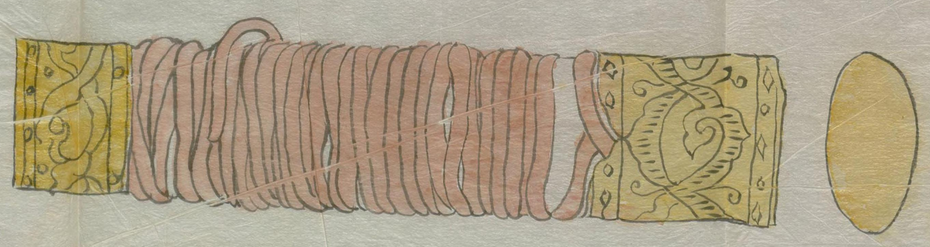
清龍山と称し洛北白馬寺蔵に田村丸ノ

七曜御剱

寸尺如圖





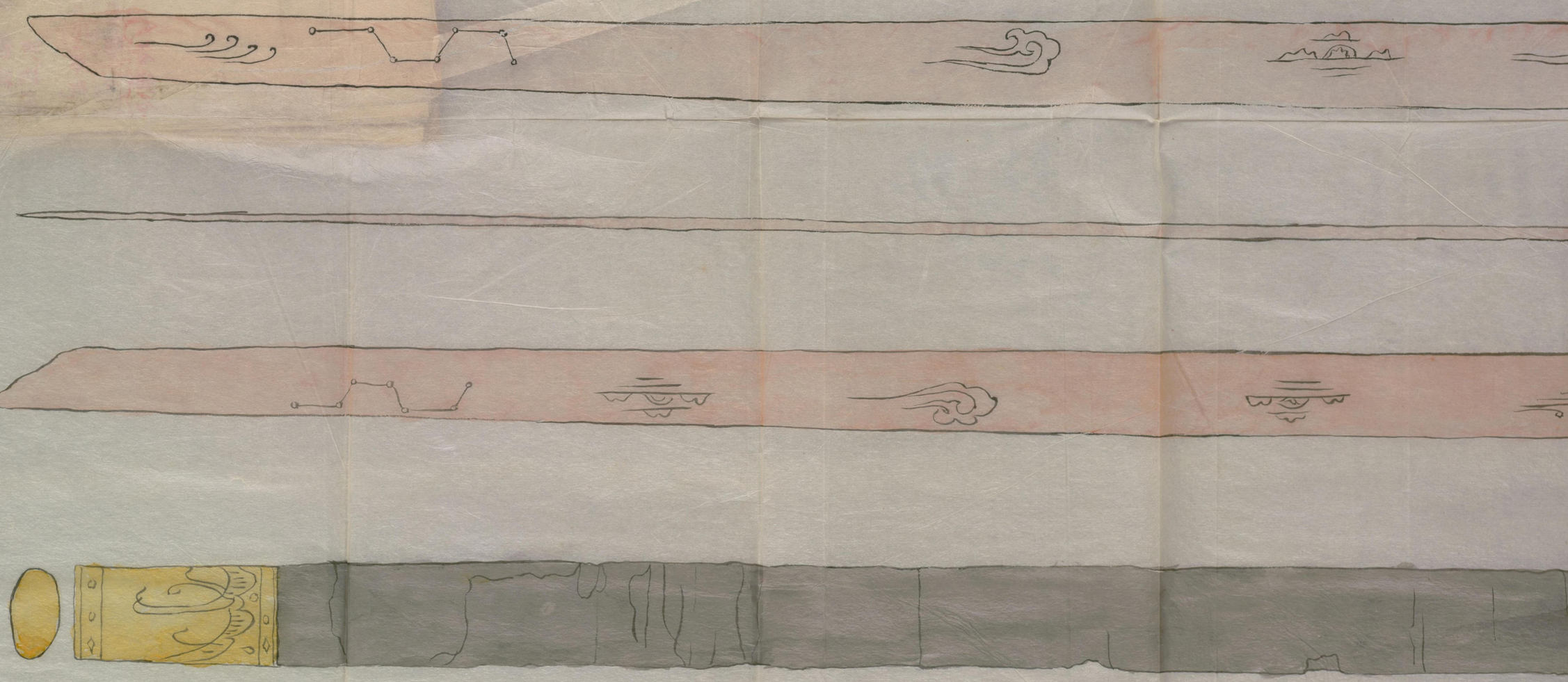


国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7
ガラス使用

年の作なるべし と云是は宣旨を蒙御後三年を経て
樋殺抄に太刀製匠房記顯實云鋒鈍三尺或二尺過て
十其中の鈍背有銘北斗左青龍右白虎其外不見と
あるされば此鈍一尺六寸強の小太刀にして北斗
雲形以下の鏤紋龍虎めける也鮮明なるこれとも若くの
寺座往代の時と言法王の授らるゝ聖刀なる為
に此を特に国家典型の一品章に今なを現存せるを見
る左曜仰尊星也 弘安元年閏十月国賊等の怠国
法印此御鈍を拝見して
秋の月あさ元きるしよ夜の星七の曜を為てそしる寶

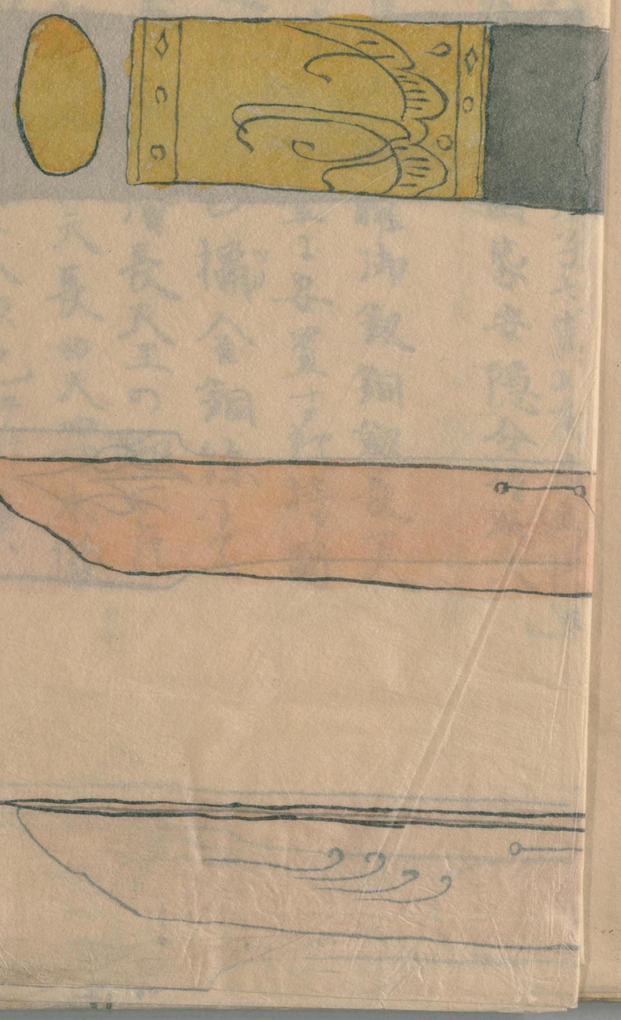
潛確類書に唐太宗有古鈍七星隨顯於砥北斗恆在檐下
誠之後人視寶氣過半 鈍上逐星漸隱須臾不見と
又唐李嶠寶劍篇に皆上銘為萬年宮 明前鈍
作北星文 とあるを考合されも此御劍隋唐の物
なるべし 千歳の年前の物なるを亮賢と能色
とりす

清藤翁と俗に称馬寺蔵に田村丸ノ
佩鈍と傳ふ其装一千年以上見る古鈍
の鈍身直刀にて片刃約二尺寸余
鞘黒漆皮の巻包に柄 鈍長 鈍長 鈍長
二つ共に鉄 鞘尾 八頃其製の詳なるを鈍
身ノ作者 ヒラ ト云 又天名不詳 今法隆寺
宝物考証に此にて之を考に成 往昔今寺
ノ本尊 毘沙門天像ノ帝鈍にて八ツ刀
ヒカ尚後証の伝ソ
天之真浦鈍と寺傳ヌリ



国立国会図書館　タイトル『草薙余風』 請求記号 835-7
ガラス使用

835
7



国立国会図書館　タイトル『草薙余風』　請求記号 835-7
ガラス使用

835
7

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』 請求記号 835-7

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『草薙余風』 請求記号 835-7

ガラス使用